初任者研修に関わるアンケート集計結果
拠点校指導教員・旧方式の指導教員だった方（１０名回答）

１．研修方式はどちらでしたか？

拠点校方式　8　　旧方式　2

２．それはいつですか？

03年度　　04年度　1　05年度　4　06年度　1　07年度　5

３．そのときの学部は？

小学部　7　　中学部　3　　高等部

４．研究授業について

（１）　研究授業は何回ありましたか？

１学期	０回	２学期	１回	３学期	０回	計	１回	
１学期	０回	２学期	０回	３学期	１回	計	１回	
１学期	１回	２学期	０回	３学期	１回	計	２回	2
１学期	０回	２学期	１回	３学期	１回	計	２回	
１学期	１回	２学期	１回	３学期	１回	計	３回	4
１学期	１回	２学期	１回	３学期	２回	計	４回	
１学期	１回	２学期	２回	３学期	２回	計	５回	
１学期	０回	２学期	２回	３学期	３回	計	５回	
１学期	１回	２学期	２回	３学期	３回	計	６回	
１学期	２回	２学期	４回	３学期	４回	計	１０回	

学校によって違う　3

（２）初任者が担当する教科や、研究授業の回数などをどのようにして決めましたか？

・担当した相手校の従来どおりの回数で行った。

・校内指導教員と相談して研究授業を決めた。研究授業の回数は、学校によって決めてある。

・中原では、研究授業の重視もあり、研究授業をしっかりするということもあって、３学期が本番、１学期は授業案の書き方、２学期はプレということで行った。２学期、一ヶ月ぐらいかけ、授業案、授業の進め方、児童の見方などクラスで協議，ビデオ撮りなどもした。

・担当する教科は初任者の希望と学年の実情から決めました。研究授業の回数は４年度については、前年度までの本校の初任研の研究授業の回数と同様に考えました。（それまでの反省に基づいて回数は設定すべきと考えたので）ただし、３学期に県の初任研の指定研究授業（名称は？）が入ったため一回増えましたが、授業案は５，６回目とも同じものを使用（少しの手直し）をして、負担はあまりないように考えました。ただし、０４年度は拠点校方式というものがよくわからずに研修がスタートしてしまったため、研究授業で扱う教科に偏りがでてしまったため、次年度は計画的に行えるように配慮しました。０４年度の研修内容については初任者と校長の意見をいただき、研究授業回数も適ということでしたので、０５年度も５回設定をしました。２・３学期の２回は同一題材の初めと終わりごろに設定し、展開の部分を書けばいいようにしました。

・1，２学期については個別対応が中心となる個別課題（国・算・自立活動）を主に研修の中心にし、３学期は集団での授業の中でリーダーとして授業を行うことをメインに研修を組んだ。研究授業の回数については前年度を参考にした。初任者が担当する教科については、基本的に、週時程の研修の日と合致するように考えた。

・担当する教科については、クラス単位で担任同士で相談して決めた。（本人のやりたいものにした。）回数は、学校ですでに決められていた。（初任研の説明会で２回ですといわれた。）

・担当教科は所属学年での話し合いで決まりました。研究授業の回数は前年度と同様にしました。

・教科は学年やクラスで話し合い、年度のはじめに決まっていました。回数は学校の方から公開授業として提示がありました。

・教科は学年やクラスで話し合い、年度のはじめに決まっていました。回数は初任者と相談したのと、昨年度までのひきつぎを参考に決めました。

・１番無理なく１年目でもできる教科（一人でやらずに集団の教科）小１年体育。２学期に練習として、クラス内で行い、（自分も子供を担当して見ているので、実際見れていなかったので自分もビデオを撮った。）本番を３学期に。

・養護学校での全科のため、他の教員との関係を絡めて担当する授業が決まった。研究授業の回数はそれほど深く考えなかった。